

## 選者プロフィール（敬称略、順不同）

### <短歌>

#### 田宮 朋子

昭和25年新潟県長岡市（旧寺泊町）生まれ。平成14年、角川短歌賞受賞。昭和55年、コスモス短歌会入会。歌集『雛の時間』『星の供花』『雪月の家』『一滴の海』。現代歌人協会会員。宮柵二記念館運営委員。NHK学園講師。現在、「コスモス」選者。朝日新聞「新潟歌壇」選者。小千谷市富久寿大学講師。

#### 小島 なお

昭和61年東京都生まれ。平成16年、角川短歌賞受賞。平成19年、コスモス短歌会入会。歌集に『乱反射』（現代短歌新人賞、駿河梅花文学賞）、『サリンジャーは死んでしまった』、『展開図』。令和4年4月、『短歌部、ただいま部員募集中！』を刊行。平成28年度、令和2年度『NHK短歌』選者。信濃毎日新聞歌壇欄選者。新・介護百人一首選考委員。歌壇賞選考委員。

#### 松田 慎也

昭和27年生まれ。「鼓笛短歌会」代表。月間歌誌『鼓笛』を平成25年より毎月1日に刊行。「第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会 詩（ことば）フェスティバル」短歌部門選者。日本歌人クラブ会員。現代歌人協会会員。

### <俳句>

#### 神野 紗希

愛媛県松山市生まれ。高校時代、俳句甲子園をきっかけに俳句をはじめる。平成14年芝不器男俳句新人賞坪内稔典奨励賞受賞。令和元年、桂信子賞。平成30年、『日めくり子規・漱石』（愛媛新聞社）で第34回愛媛出版文化賞大賞。近刊に句集『すみれそよぐ』、ジュニア向け『俳句部、はじめました』、エッセイ集『もう泣かない電気毛布は裏切らない』他。日本経済新聞俳壇選者、現代俳句協会常務理事、聖心女子大学・立教大学講師、俳句甲子園審査員長など。

#### 高田 正子

昭和34年岐阜県生まれ。令和6年1月「青麗」創刊、主宰。句集に『玩具』、『花実』（第29回俳人協会新人賞）、『青麗』（第3回星野立子賞）、『自註現代俳句シリーズ 高田正子集』。著書に『子どもの一句』、『黒田杏子の俳句』、『日々季語日和』、『黒田杏子俳句コレクション』全4巻。俳人協会理事、中日新聞俳壇選者、田中裕明賞選者、俳句甲子園審査員長など。

#### 川崎 陽子

昭和12年新潟市生まれ。昭和56年「河」入会。昭和66年同人。同年角川春樹賞受賞。平成15年新潟県俳句作家協会賞受賞。平成16年俳人協会大賞準賞受賞。句集『朱鷺の島』『菊越後』『帰心』『写真の中』。俳人協会会員。新潟県作家協会会員。「新潟ジュニア俳句大会」「朝日新聞俳壇（新潟版）」選者。歯科医師。

### <俳句>

#### 山本 浩

昭和11年小千谷市生まれ。小学4年生から俳句に興味を持つ。昭和44年日報俳壇賞受賞。平成14年に2回目、17年には春秋の連続2回、令和元年に5回目の日報俳壇賞受賞。「花守」「風」会員を経て現在「南風」会員。平成19年藍生賞受賞。俳人協会会員。

#### 吉原 幸男

昭和19年生まれ。昭和37年より「雪解」（皆吉爽雨主宰）、昭和40年より「花守」（志城柏主宰）を経て平成14年「天為」（有馬朗人主宰）会員。第12回雪梁舎賞受賞。江戸時代から続く片貝町の「時雨句会」世話人。

### <川柳>

#### 山倉 洋子

昭和17年五泉市生まれ。第2回オール川柳大賞受賞。著書に『川柳句集 卑弥呼』『卑弥呼書評集』。新潟県川柳連盟顧問。新潟日報文芸欄川柳選者。

#### 山崎 草太

昭和17年生まれ。川柳公論社「川柳はいふう」会員。一般社団法人川柳文化振興会、会員。「長陵川柳会」顧問。長岡新聞「悠久文芸」川柳選者。

### <詩>

#### 八木 幹夫

詩人。昭和22年神奈川県生まれ。『野菜畑のソクラテス』で現代詩花椿賞・芸術選奨文部大臣新人賞受賞。著書「渡し場にしゃがむ女ー詩人西脇順三郎の魅力」等。現在、丸山薫賞選考委員。産経新聞「朝の詩」選者。日本現代詩人会会員。余白句会所属。